



発行所
日本工業大学
広 報 課
〒345 埼玉県南埼玉郡
宮代町学園台4-1
☎ 0480(34) 4111

卒業 特集

卒業生への言葉

多様な社会に対応できる技術者に

学 長 大 川 陽 康



諸君、卒業おめでとう。諸君がこれから新社会人として活躍していく実社会は現在、多くの困難な問題に直面している。なぜなら世界は今、東西対立の解決に向けて戦後はいじめの、歴史を揺るがす大きなうねりの中にあるからである。その影響の波は、確実に我が国にまで及んで来るであろう。すでにその兆しは現れている。

昨年の後半から今年にかけて、東欧諸国の民主化へ向けての大きな動きや、マルタでの米ソの首脳会談が、戦後四十年以上を支配してきた世界の構造を大きく変えようとしていることは、諸君も新聞・テレビ等の報道を通じてすで

に良く知っている通りである。その中で、日本の一挙手一投足は、世界のなかでもっとも繁栄している国のひとつとして、以前にも増して注目を集めている。

ところで、わたしは、次の世紀まであと十年足らずとせまった現在の世界の動きを、後世の歴史家はどのように見るのであろうか、大変興味がある。かなり大きな項目を割り、二十一世紀を暗示する事項として世界史の中に書き記すことになるのではあるまいか。こうした中において、今我々に必要な視点は、資源を持たない現在の日本の繁栄が、資源供給国の協力の上に成り立っているということであり、

世界の中での日本という発想とその役割に慣れている。戸惑っているときえ言っている。こうした日本を取り巻く環境の中で、これらの日本の工業社会を担っていく諸君に求められているのは、今までような日本の発想ではなく、新幹線の建設が、世界銀行からの融資によって実現した。これらによって昭和三十年代から四十年代にかけての復興期の日本は、社会的にも経済的にも大変大きな恩恵を受けた。あれから二十数年の年月が流れ、奇蹟とまでいわれた経済復興をとげた日本は、今日ODA（政府開発援助）の予算総額が百十億ドルで、アメリカを抜き世界第一位の援助大国にまでなった。日本にかつての恩恵を返せる時が来た。しかし、人的な援助をもたない、言わば心の通った技術協力はまだ十分で、相手の立場に立った協力が、今求められている。

グローバル・パートナーシップという言葉を最近耳にするようになったが、相手の立場に立った協力を援助に代えて、日本は根本的な発想の転換を、世界から求められている。戦後四十年間をたひたすら働き、気がついた時には経済的巨人となっていた日本は、



同窓会を通じて相互に連繫を

日本工業大学同窓会会長 小 西 法 行

2月12、13の両日にわたり 平成2年度入学試験実施



試験会場へと向う受験生

学 科	募集人員	受験方式	志願者数	合 計	合格者数	合 計
機 械 工 学 科	40名	A方式	551 (内女f3)	613 (内女f3)	58 (内女f2)	60 (内女f2)
		B方式	60		2	
		留学生	2		0	
電 気 電 子 工 学 科	40名	A方式	443 (内女f4)	505 (内女f4)	40 (内女f1)	46 (内女f1)
		B方式	60		6	
		留学生	2		0	
建 築 学 科	40名	A方式	497 (内女f26)	541 (内女f30)	39 (内女f3)	54 (内女f5)
		B方式	43 (内女f4)		15 (内女f2)	
		留学生	1		0	
シ ス テ ム 工 学 科	30名	A方式	369 (内女f4)	452 (内女f4)	27 (内女f2)	30 (内女f2)
		B方式	79		3	
		留学生	4		0	
合 計	150名			2,111 (内女f41)		190 (内女f10)

平成2年度の一般入学試験が二月十二、十三日の両日にわたり、本学を会場に行われた。二日間のうち、一日目は機械工学科・電気電子工学科、二日目は建築学科・システム工学科の試験が実施され、平均倍率は十三・五と昨年に比べて大幅な志願者増となった。

二年後の創立二十五周年の記念事業に向けて全力を上げています。さらに、同窓会の会員相互の連帯を深めるため支部活動も盛んに行われており、岩手、栃木、千葉、神奈川、静岡、愛知、近畿、四国、沖縄の国内九支部と、海外にはバンコク支部があります。今後は、各県一支部を目標に、頑張っていきたいと思っております。皆さんも、勤務先、住まいが支部と同じであれば、支部の会員にもなれるわけです。

このように皆さんは卒業しても、一万三千名の仲間がいて、忘れることがない、悲しい時、寂しい時のみならず、嬉しい時があった時も皆さんの仲間と分かち合いたいものです。どうか、同窓会活動に理解をしていただき、支部及び全体の同窓会活動に積極的に参加され、仲間との交流を深めて頂きたいと思っております。

それから、卒業されますと、なかなか母校に来る機会がないと思いますが、年に一度の盆踊り大会、学園祭には顔を合わせたいと思っております。

二日目は建築学科・システム工学科の試験が実施され、平均倍率は十三・五と昨年に比べて大幅な志願者増となった。

試験は、英語・数学・物理の三科目によるA方式と、英語・数学・志望学科の専門科目によるB方式の何れかを選択受験する、本学独自の入試方式である。これは受験生の多様性を的確に評価するため、昨年から導入されたもので、従来に比較して普通高校出身者の門戸を大きく開放した。

試験は、英語・数学・物理の三科目によるA方式と、英語・数学・志望学科の専門科目によるB方式の何れかを選択受験する、本学独自の入試方式である。これは受験生の多様性を的確に評価するため、昨年から導入されたもので、従来に比較して普通高校出身者の門戸を大きく開放した。

出してほしいと思います。そして、恩師や、仲間達と大いに語り合ってほしいものです。先生方も、その日の来るのを楽しみにされておられることと思います。また、何年かすると求人活動も行うようになると思われますが、その時には、一番先に母校に声をかけてください。今まではあまり利用できなかったと思いますが、これからは、どんどんご利用ください。会議も宿泊も召し上がれます。

日本工業大学は、第一期生を世に送り出してから二十年になりました。これまでに大学は大きな発展を遂げました。大学院のドクターコースまでも完成し、研究設備も設立年数が同じ他大学とは、比

べものにならないくらい立派になっていきます。これからは、母校が日本一の工業大学を目指すのであれば、同窓会もそれに遅れることなく立派な同窓会にして行くのが、われわれの使命だと思います。それには、皆さんの若い力が必要となってまいります。どうか母校のため、同窓会のためにみならず、自分自身のために大いに頑張ろうではありませんか。

最後になりましたが、同窓会より卒業記念に、第一期生から皆様方までの卒業生を記載した名簿をお送りいたします。何かのお役にたてたいだけです。どうかお喜びください。

皆さんの今後益々のご発展と、ご健康を心よりお祈り申し上げて、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

試験は、英語・数学・物理の三科目によるA方式と、英語・数学・志望学科の専門科目によるB方式の何れかを選択受験する、本学独自の入試方式である。これは受験生の多様性を的確に評価するため、昨年から導入されたもので、従来に比較して普通高校出身者の門戸を大きく開放した。

試験は、英語・数学・物理の三科目によるA方式と、英語・数学・志望学科の専門科目によるB方式の何れかを選択受験する、本学独自の入試方式である。これは受験生の多様性を的確に評価するため、昨年から導入されたもので、従来に比較して普通高校出身者の門戸を大きく開放した。

試験は、英語・数学・物理の三科目によるA方式と、英語・数学・志望学科の専門科目によるB方式の何れかを選択受験する、本学独自の入試方式である。これは受験生の多様性を的確に評価するため、昨年から導入されたもので、従来に比較して普通高校出身者の門戸を大きく開放した。

羽ばたけ、新しい時代に向かって

機械工学科 玉 木 保



諸君のおおよそ四年間の日本工業大学における生活は充実していたであろうか。全ては人の成せる業である。完璧に満足のゆく結果が得られるはずはない。しかし自分なりに充実感を抱くことが出来れば、「十分に幸せ」と考えるべきである。この世にこれ以上

の時期、諸君や諸君の先輩と共に慌ただしく卒業式を迎えること二十回、日本工大は最私の人生そのものである。初めての卒業式は第一期生のそれであった。あの頃は私は二十代の後半、現在の諸君の年齢とほとんど同じである。そして二十年、私の思考の世界はあたかも時計が止ったかのようである。あの頃は人生はもっと永く、歳月を重ねて成長を続け、新しい自分を発見できるであろうと勝手に想像していた。時は苛酷である。今や新しいものの発見など遠く、学生時代に蓄えた貯

金を取り潰して暮しているというのが実状である。しかし私の状況とは無関係に、この間日本工大の学風、あるいは日本工大文化は着実に歩みを進め、一言を成す事が出来るまでに成長してきた。諸君はその中で自由闊達に生活した事と思う。この青春の四年間は諸君の思考の原点である。今後も諸君の生き方に大きく影響を与え続けるに違いない。私は本学以外に職を得た経験が無く、今後もし引続きお世話になる。従って大学に残る者として日本工大文化を高め、諸君の先輩に誇れるものにすべく努力したいと思う。

変化の大きい時代である。仕事、レジャー、日本、アジア、世界、地球、人類、地球温暖化、国際化、貿易、情報、御健闘を祈る。

センスを磨こう——三識の教え

建築学科 北 後 寿



総選挙が行われた日本の政界で、今ほど政治家の「良識」が問われていることは、かつてなかった。金権政治の打破、国際的自由経済への協力などが、激動する世界情勢の中で焦眉の急となっている。英語で、良識はグッド・センス、良識ある人はア・パースン・オブ・センスが当てはまるようだ。センス(Sense)の和訳は、コンサイス英和辞典では、(一)感覚、(二)観念・意識、(三)思慮・分別、(四)意味・意義、

(四)世論とあり、この場合(三)が適訳となる。諸君は、大学で四年間(修士ではプラス二年間)——いや、わが国の教育制度では、小学校から通算すると大学卒業まで十六年間——勉強にいましめ、充分な「知識」を蓄えてきたものと思う。これから、自分の属する分野での、応用的「知識」を吸収するために努めねばなるまい。今まで過ごしてきた学生生活は、学生社会——一般社会へのつなぎの役割を果たしている——という、いわば大人としての集団生活のはしりであった。そしてそこでは、対人関係(教師、先輩、後輩、友人、下宿生など)が対象、学内事務折衝・学生課、教務課、就職課など(の)を中心

とした人間関係の、諸々の基本的な日常生活を体験してきた訳である。その間に培われてきたものは、この世に生を受けたものが生き抜いていくための処世訓としての「常識」の数々であった筈である。今や「知識」と「常識」を応分に備えた一人の社会人として、諸君は大学生活を終えようとしている。そして今後いよいよ自立への道を歩み始めることとなる。これらが、卒業する大学生の姿をじっと見つめる世間の眼というものである。

学窓を巣立って行くという言葉がある。これは学生社会がまだ社会の中でもひよっ子的存在であり、そこに巣籠もっていたひな鳥がやっと自然の荒波にもまれるために飛び立つ

各科主任教授よりの卒業生への言葉

ある。既述の「知識」「常識」と、この「良識」の三つが兼ね備わって、初めて不特定多数の人々との生活に適切に対応していけるのではないだろうか。これが常日頃私が信奉している「三識の教え」である。グッド・センス、この意味するところは、それと見における「センスがいい」ということではない。もっと深い人々の心の奥底にあるもの、すなわち、これらの三つセンスの中で重要な位置を占めるグッド・センスなのである。諸君、卒業おめでとう。これから、大いにセンスを磨いて、立派な社会人として大成されることを望んでやまない。

卒業おめでとう。諸君の新しい門出に当たって、私はここに、その昔自身で実際に目撃した情景、言わば「ある小さな感動」とでも題すべき情景をそのまま伝え、はなむけの言葉に代えたいと思う。

それは、かつて私がある会社の研究所に勤務していた頃のことであった。ある朝はやばやと出勤して、私の研究室のある五階から何気なくすぐ下の窓の縁を見ると、三羽の雀が体を寄せ合ってしきりに



手し、発言を求めた。「我々は今日会社に入ったばかり。自分の性格が果たしてこの会社に向合ものかどうか、一向に分からない。そのような状況下でただ頑張りと言われてもやる気が起きない」と重役は怒鳴りつけたところを辛うじて堪え、「自分の真の姿が何かは真剣な生活を通じて初めて明らかにになるものだ。君の疑問も、会社員としての務めと誠実に取りくむことを通じて次第に明らかになって行くのではないか」と答えたが、当の新入社員は引きさがらず、「我々は会社がよく分からないからこそ種々の疑問や悩みが湧いて来るのだから、先ず我々に会社を理解させることから始めるべきではないのか」と言い、そのうちに他の多くの新入社員も同調し始め、さすがの重役も弱り果てたというのである。

我が国の諺にも、「下手な考え、休むに似たり」というのがあがるが、右の話をこの諺の

手し、発言を求めた。理解できるものではない。また、いかに情報化社会といっても、情報を自分の手で把み、自分の歯で噛み、自分の胃袋で消化する姿勢がなければ、我々の血肉とはならないであろう。前述の青年達はこのような単純・素朴な事実を盲目的に踏襲し、

たてている。親への切なる哀願も到底聞き入れられぬと見てとると、子雀は首を縮め、もぐり込んで逃げ路をさがそうとするが、どっこい、退路はふさがれている。それらのやりとりや表情が人間と全く同じで、見ている方ははらはら。そうこうしているうちに一羽の親が痼癪でも起こしたのか「エイッ、この意気地なし奴」とばかり、いきなり羽で子供をはたき落とす。やっ

— 行動と意志 —

電気電子工学科 八 田 達



二、三年前、次のようなことを雑誌で読んだことがある。記憶を追って再現してみるとある会社で人事担当の重役が新入社員に対して次のような講話をした。「諸君は今日から我が社の社員、我々の仲間となった。会社こそは我々の運命共同体。会社の発展は我々一人一人の幸福につながる。諸君も我々も心を一つにして会社を盛り立てて行くのではないかとすると一人の新入社員が拳

「私の体験によれば、理性は大した力はなく、悟性も頼りとはならない。これに対し、決然とした行動は全てのことを成し遂げることができる」学生時代に読み、深い感動を覚えたゲーテの言葉である。我々は毎日の義務を著実に果たすことにより始めて目を開かれ、更にこれが新たな思考の原動力となるのである。体験から遊離した思考など有り得ない。

諸君は実社会へ出、責任ある社会人として行動して行くこととなった。未知の体験に接し、多くのことを学ぶことであろうが、同時に諸君の持つ「独特の良さ」によって周囲を感化することも忘れないうで頂きたい。

自然界において生きることの厳しさは諺にある「獅子は自分の子を、千じんの谷底に蹴落とす」の情景は、か弱い小鳥の世界のもあった。否、弱い小鳥だからこそなおさら生き残るためには厳しい教育が必要であったのだ。そこには教育ママ的な上ずべりの愛よりも、もっと深い、生きるこのの本質に根ざした愛情のようなものがしじみと感じられて、思わず胸を熱くした次第であった。

卒業研究(計画)一覧

■機械工学科

玉木保・梅崎栄作研究室
(応用力学)

長田重慶・伏見恒夫研究室
(機械加工)

町山忠弘・寺島幸雄研究室
(制御工学)

石崎敬三研究室
(溶接工学)

池田義雄・小倉勝研究室
(熱工学)

渡辺寛・窪田英毅研究室
(設計工学II)

村川正夫研究室
(塑性加工)

松本正勝・横谷真一郎・渡辺高
幸研究室 (流体工学)

漆原富士夫・佐藤茂夫研究室
(金属材料)

鈴木昭研究室 (設計工学I)

柳沢章研究室 (成形加工)

有賀幸則研究室 (機械要素)

酒井茂紀・宮沢肇研究室
(特殊加工)

■電気電子工学科

八田 達・日下部岱研究室
(電子技術)

宮地邦夫・大久保勝弘・青木収
研究室 (電気機器)

岩瀬 勝・森 正美研究室
(電気鉄道・電力応用)

中道一郎・石川豊研究室
(電気材料・半導体)

[illegible]

桑原文夫研究室（地盤工学）		伊藤庸一研究室 （建築・集落計画学）		波多野純研究室 （都市史・建築設計）	
小羊眞一郎研究室（環境工学）		■システム工学科		岩隈利輝研究室 （建築計画・農村計画）	
高橋雅充研究室（建築構造）				❖ ❖ ❖	
西山光昭研究室（材料・構造）				福田成二研究室 （都市計画・地域計画）	
大岸文夫研究室（建築計画・建築設計）		長谷川光研究室（制御工学）		榑田昇（光電物性）・中村洋一 （画像素子材料）研究室	
杉本安次郎研究室（表面工学）		機械工学科		平成元年度	
野口卓也研究室 （電磁気学・品質管理）				卒業生名簿	
飯倉道雄研究室（情報技術）				3月20日付 確定者	
鈴木敏正研究室（電子材料工学）					
正道寺勉研究室（数理計画）		竹内淳彦研究室（工業地理学）		塚林功研究室（プラズマ）	

電
気
電
子
工
学
科

建
築
学
科

シ
ス
テ
ム
工
学
科

カナダ特別英語研修の動機

英語科教授 伊藤 隆

(以上 七九四名)

☆強くなるには☆

ガッツ石松といえは今はタレントですが、元はプロボクシングの世界チャンピオンでした。王座につく前は、持ち前の気の弱さから自分の力が発揮できないタイプだったのですが、ある試合で思わぬラッキーパンチでKO勝ちをしたの時に境にして彼はまるで別人となり、以後、自分のボクシングが常に出るようになっていました。

「若い人がどうしたらテニスが強くなるか」と、逆説的なんですが、やはり重要な試合に勝つと強くなる」これは小宮隆太郎氏のことばです。

外国語も同じです。ある日偶然でもよから通った「分った」という感激を体験すること。コレです。

心底では英語に強くなりたいて思っているのに、どうしてもニガテ意識のある——しかしその原因が自分の側ににあるわけではなく、中・高時代の学校教育のシステムにあった訳なのですが——学生諸君が目をみはるほど変身する機会を、カナダ特別英語研修に参加することでつかんで下さい。

☆引きがね☆

三週間や四週間、カナダに滞在したからといって英語が急にできるようになるはずがない、と考える人がいるかも知れません。単語力も文法力も低いのに、と。

しかしこの力不足は、自分の側に原因があったわけではなく、あくまで今までの機会が与えられなかったという点に、光りを当てて考えてもらいたいのです。

言葉の勉強が人間どうしの理解のためにどんなに大切なものかを、身をもって痛いほど知らされるのは、このわずかな期間においてなのです。

ときには悪戦苦闘の末にようやくひらめいた単語のひとつによって、人々と一瞬にして心が通じあったという感動こそ何物にも替えがたい体験で、帰国してからの学習に拍車をかけ、英語の進歩をうながす強い引きがねになるのです。

☆その証拠をあげると☆

第一回の研修(昭和五九)に参加した高橋君(当時E二在籍)はその手記「青塔七号」に「ある日ヒッチハイクの私を乗せてくれた婦人にこういふ訳(当時現地でバ

イをしていた三週間、まったく遠慮や心配りなどしないで、わがままを言い自分のやりた放題をして家族に甘えていた……英語のほとんど分らない自分に、楽そうに何度も何度も繰り返して分るまで話をしてくれ、よく遊んでもくれた……いつの日にか必ず里帰りをしようと思う」と書きま

した。翌年、カナダのこの夫妻は日本に来て、明石君は日光や京都に英語を使って案内したのでした。彼からは今またカナダにいるという便りが最近ありました。

彼らが伸びたのは、よしんば初めは片言の英語であって、まずはともかく異文化圏に身を置いてはじめて知ることのできる相互理解のあつてのことだったのです。これこそが、まさに国際感覚を身に付ける、そもその出発点なのです。

同じく明石君(当時M二在籍)は「八月二十六日。ここハンターさんの家の最後の朝食……次の目的地シスコに行ったらここに行ってみなさいと、メモをもらった。そして別れ。正直言って涙が出そうだった。おばさんはキスをしてくれ、『今度息子(明石君のこと)に会いに日本に行くね』と言った。おじさんは初めて会った時よりも強く握手をした。……ホームステ

イをしながら三週間、まったく遠慮や心配りなどしないで、わがままを言い自分のやりた放題をして家族に甘えていた……英語のほとんど分らない自分に、楽そうに何度も何度も繰り返して分るまで話をしてくれ、よく遊んでもくれた……いつの日にか必ず里帰りをしようと思う」と書きま

した。翌年、カナダのこの夫妻は日本に来て、明石君は日光や京都に英語を使って案内したのでした。彼からは今またカナダにいるという便りが最近ありました。

☆すこし遠くへ☆

昨年まではバンクーバーに行きましたが、今年は、もっとと研修効果を高めるため、日本人のより少ない東の方へ行きます。トロントです。工業化が一層進み、アメリカ



セネカカレッジ・レスリーキャンパス

竹内淳彦教授の著書に対し

中小企業研究奨励賞授与



平成元年度の中小企業研究奨励賞経済部門が、竹内淳彦教授の著書「技術革新と工業地域」(天明堂)に対して贈られた。本書は、竹内教授の専門分野である工業地理学の研究書であるが、その中の中小企業に対するとらえ方が独

創的であると言うのが、今回の受賞の主な理由である。中小企業研究奨励賞は、日本における中小企業研究に対して与えられる唯一の賞として知られており、平成元年度は同分野の五十四の研究が候補として挙げられた。そのなかで、経済部門の受賞は二件、中小企業自体を直接の対象としない、他分野からの同賞の受賞は異例のことである。受賞式は二月二十日、商工中金ホールで行われた。

マイカー通学の

自粛を求める

学生課

本学では、クルマによる通学を禁止とはしていないが、学生諸君には「自粛」を強く求めている。学生の大部分がクルマの免許を持ち、生まれながらクルマ社会で育っている環境を考えると、クルマを所有し、運転したい気持ちは理解出来る。しかもクルマは極めて便利なものであることは言うまでもない。しかし、学生時代の四年間は「学生」という身分を考え我慢をしい。ご家族や関係者の気持ちが永久に癒えることはないであろうと、考えることは真に無念である。また、同乗者や通行人をして相手側へ一生かかっても償いきれないような事故を起こした場合、学生諸君はどのような責任が取れるであろうか。このように起こしても、起こされても悲惨極まるのが交通事故である。任意保険すら加入せずに、ク

ルマを運転しているなどは論外であるが、事実として、損害賠償のため、アルバイトをせざる得なくなり、留年し、ひいては大学を退学しなければならなくなったケースも少なくない。なかには車を購入の数年連続して出ている。これに交通違反を加えれば、いかにその数が多いかは驚くほどである。そして昨年、一年間で、四名の学友を交通事故により失ったことは記憶に新しい。ご家族や関係者の気持ちが永久に癒えることはないであろうと、考えることは真に無念である。また、同乗者や通行人をして相手側へ一生かかっても償いきれないような事故を起こした場合、学生諸君はどのような責任が取れるであろうか。このように起こしても、起こされても悲惨極まるのが交通事故である。任意保険すら加入せずに、ク



違法駐車風景(野球グラウンド横)



違法駐車風景(消防署わきの町道)

波多野助教に

東京工業大学より

工学博士授与



建築学科波多野純助教に、平成元年十二月三十一日付で東京工業大学より工学博士の学位が授与された。博士論文名は「都市施設としての上水を通してみた近世城下町の研究」である。

し、維持する費用を捻出する目的で、勉学を疎かにする本末転倒の学生もいると聞く。現在の立場をよく考え、クルマを極力使わない決心を是非してもらいたい。

二つめは、再三の警告にもかかわらず、一向に改善されない違法な路上駐車である。駐車場に入りきれないクルマが大学の周囲、とくに消防署側の道路の狭い町道・農道の両サイドにずらりと停められていく。その光景は異様であり、近隣住民のクルマが立ち往生したり、必要な仕事が出来なかつたりと、日常生活さえも脅かされている。もつと悪質なクルマは、勝手に他人の私有地に駐車しており、まるで悪いという自覚さえもない。このような違法駐車がこの数年増えるとともに、当然のことながら近隣住民、そして、警察、消防署、宮代町役場といった関係当局から、善処の苦情・警告がたびたびいつた状況である。このまま事態が推移すれば、本学としても積極的に関係当局に協力を要請し、収拾を図らなければならぬ。近い将来、学生駐車場を増やしたり、校内乗り入れを許可することはあり得ない。逆に、全くフリーに利用出来ている現学生駐車場についても四百六十四人と昭和五十一年以来最悪で、全死者数の六十一・四％は、クルマとバイクの乗車中での事であった。しかも近年目立つのは、若者による事故の多さである。本学としても学生への交通安全教育の機会を増やし、事故防止のための対策を積極的に実行していきたいと思っている。学生諸君の自主的で強い協力がないければ事態は最悪の方向へ進むであろう。マイカー通学の自粛を強く求め、警告するものである。

平成元年度
主な就職先

工学部

製造業

【一般機械器具】

アイダエンジニアリング
エヌエスケー・トリントン
岡本工作機械製作所
コピア 酒井重工業

三條機械製作所 サンデン
新日本造機
積水工機製作所
ソディック SMC THK

中野冷機 新潟コンバーター
古河機械金属 北越工業
牧野フライス製作所
三井精機工業
ヤマザキマザック
レオン自動車
【電気機械器具】
アイレックス
アルプス電気
安藤電気 クラリオン
ケルケンウッド 三洋電機
シャープ 芝浦製作所
新神戸電機 スタンレー電気
セイコーエプソン
タムラ製作所 高岳製作所
高見澤電機製作所
第一電子工業 東京電気
東光電気 日新電機
日星電気 日本アンテナ
日本コロムビア
日本シイエムケイ
日本デキサスインスツルメンツ

日本デジタル研究所
日本電気
ホームエレクトロニクス
日本ビクター
日本モトローラ
ヒロセ電機 日立コンデンサ
日立工機 日立製作所
富士通化成 富士通ゼネラル
富士通電装 富士電機
富士電気化学 松下電器産業
松下電子応用機器
ミツミ電機
ミナトエレクトロニクス

スターツ 地産 北越銀行
【通信業】
日本電信電話
【電力産業】
東京電力
【情報産業】
NJK NTTデータ通信
山形日本電気 ユニデン

【その他のサービス】
ウエスコ 沖ステック
関東電気保安協会
総合警備保障
辰巳商事
中部ナショナルサービス
東京ソイルリサーチ
東芝昇降機サービス
東芝情報制御システム
新日鉄情報通信システム
データ通信システム
日本インフオメーション
エンジニアリング
日本システムウェア
日本電気ソフトウェア
日本ビジネス
オートメーション

日立LSI
エンジニアリング
日立デバイス
エンジニアリング
日立マイクロコンピュータ
エンジニアリング
富士総合研究所
富士通ネットワーク
エンジニアリング
三菱電機サービスセンター
三菱電機情報ネットワーク
メイテック
明電エンジニアリング
山武計装
【建設業】
浅川組 石原建設 大木建設
大本組 鹿島建設 川田工業
熊谷組 小堀住研 広洋装美

佐田建設 積水ハウス
積水ハウス木造 多田建設
大和ハウス工業 地崎工業
東海興業 東洋建設 中野組
ニッセキハウス工業
西松建設 日成ビルド工業
日特建設 日本鋼管工事
日本国土開発 不動建設
真柄建設 村本建設
矢作建設工業
【設備工事業】
近畿工業 近畿電気工事
三建設備工業 新菱冷熱工業
住友電設 第一設備工業
中部 トーエネック
東京電気工務所
東光電気工事 日本電設工業
ヤナセ設備工業

【その他】

公立学校教員 公務員
【製造業】
三菱アルミニウム

新日本無線、アドバンテスト
日本電気 松下電器産業
オムコ・オーエムシー
関東精器
宮地レーザシステム リコー

【卸・小売業】
日本ユニシス
【金融】
千葉興業銀行
【情報産業】
日本電気ソフトウェア

沖ステック
【建設業】
鹿島建設 大和ハウス工業
【その他】
公立学校教員 公務員

平成元年度
大学院修了は三十三人

三月二十日に修了する大学院修士課程第七期生は三十三名で、内訳は機械工学専攻十一名、電気工学専攻十六名、建築学専攻六名である。修了生の今後の活躍が期待される。
なお、今回の三十三名を加えると、本学大学院工学研究科は、すでに二六一名の修了生を産業界・教育界等へと送り出したこととなる。

機械工学専攻

建築学専攻

電気工学専攻

新学期の日程

授業開始は4月10日

在学生

健康診断

(体育館)

◆2年次生 3月31日
◆3年次生 3月30日
◆4年次生 3月29日

*健康診断は、午前九時から正午まで。
*留年生は自分が該当する学年といっしょに健康診断を受ける。

◆女子学生 3月30日
*13時に体育館集合

学生証の交付

(232教室)

◆2年次生 3月31日
◆3年次生 3月30日
◆4年次生 3月29日

*健康診断が終わってから、16時までに交付を受ける。

オリエンテーション

◆2年次生(留年生含む) 4月7日
【機械】9時20分 Aコース
ス一二一教室、Bコース
一三二二教室、Cコース
一三三三教室
【電気電子】9時20分
(三三四教室)
【建築】9時20分(二三四教室)

新入生

(留年生含む)

◆4月2日
【全学科】教務課窓口にて成績表等配布
◆4月9日
【健康診断】
9時～正午(体育館)
◆学生証等交付
10時～16時(二二三教室)
◆4月4日

大学院生

在学生

◆3月29日

◎学生証交付
10時～16時(学生部長室)
◎履修申告等の配布
10時～正午(教務課窓口)

◎健康診断
9時～正午(体育館)

新入生

◆4月2日

◎健康診断
9時～正午(体育館)
◎学生証交付
10時～16時(学生部長室)
◆4月4日

◎入学式
10時30分から(体育館)
◆4月5日

◎全体オリエンテーション(履修申告用紙・時間割等配布)
13時～14時(会議室)

◎専攻別オリエンテーション
【機械】14時(三二二教室)
【電気】14時(三二二三教室)
【建築】15時30分(二二二二教室)

◎新入生に対する調査
詳細については、別に掲示する。



※博士課程後期入学者は指導教授の指示に従う。